

- \* 全ての問題に対し、解（答え）のみ記しなさい。
- \* 分数の形で解答する場合、それ以上約分できない形で答えなさい。
- \* 根号を含む形で解答する場合、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

① 次の問いに答えなさい。

(1) 次の式を因数分解しなさい。

$$x^2 - 2xy + y^2 - x + y - 6$$

(2) 次の式を計算しなさい。

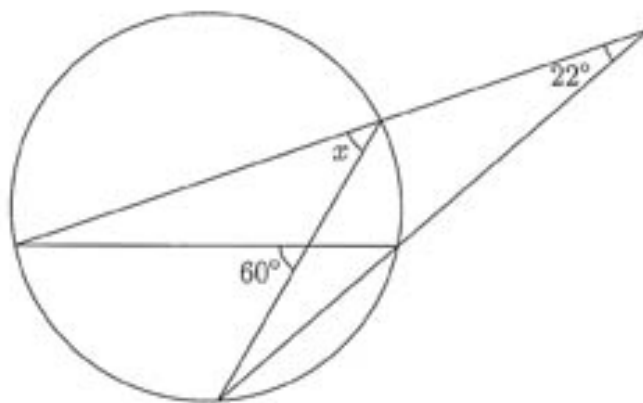
$$\frac{(\sqrt{2}-1)^2}{\sqrt{3}} + \sqrt{\frac{8}{3}} - \frac{2\sqrt{3}}{3}$$

(3)  $x$  についての2次方程式  $2x^2 + 3ax + b = 0$  の解が  $x = 2, \frac{1}{2}$  のとき、 $a, b$  の値を求めなさい。

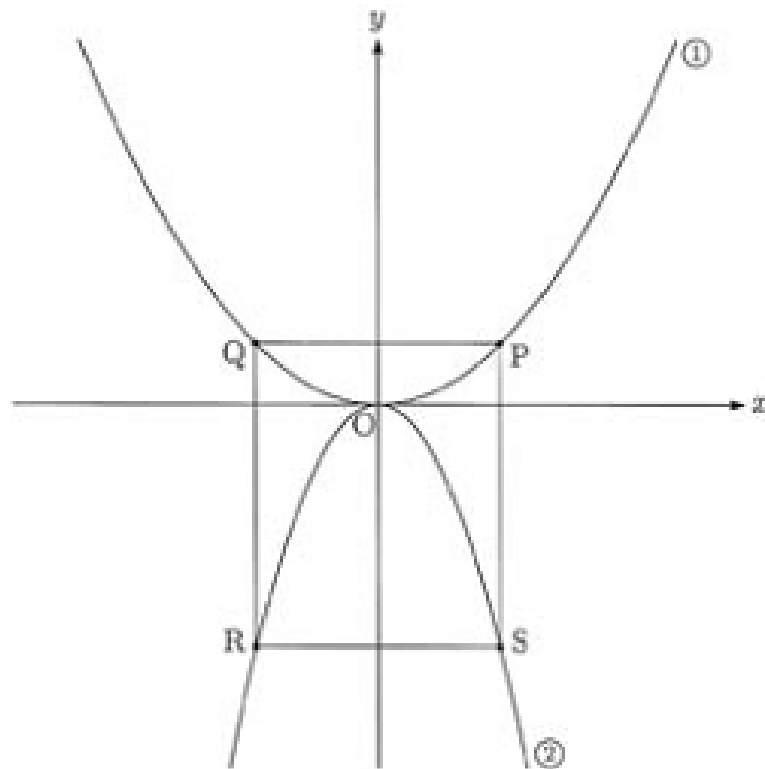
(4) 次の□に当てはまる数を求めなさい。

$$2^8 + 2^8 + 2^9 + 2^{10} = 2^{\square}$$

(5) 下の図において、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。



- ② 下の図のように、放物線  $y = \frac{1}{2}x^2$ ,  $y = -2x^2$  をそれぞれ ①, ② とします。放物線 ① 上に  $x$  座標が正である点  $P$  をとり、点  $P$  と  $y$  座標が等しい放物線 ① 上の点を  $Q$ 、点  $P, Q$  と  $x$  座標が等しい放物線 ② 上の点をそれぞれ  $S, R$  とします。ただし、4 点  $P, Q, R, S$  はすべて異なる点とします。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 関数  $y = -2x^2$  において、 $x$  の変域が  $-3 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

(2) 点  $P$  の  $x$  座標が 4 のとき、四角形  $PQRS$  の面積を求めなさい。

四角形 PQRS が正方形になるとします。

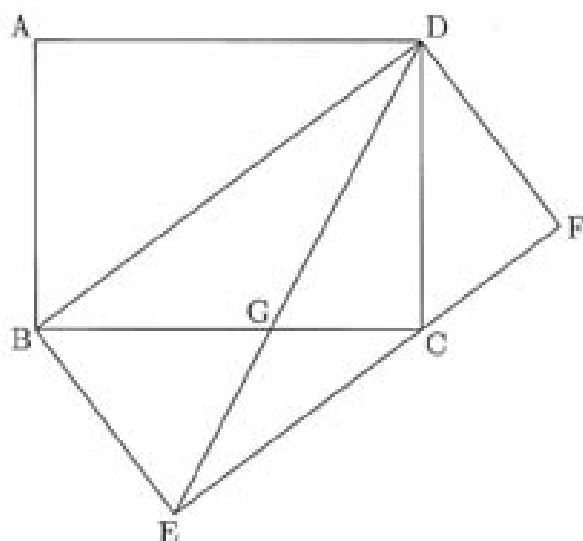
(3) 点 P の座標を求めなさい。

(4) 直線 PR の式を求めなさい。

(5) 直線 PR と放物線 ③ との交点のうち、点 R と異なる点を T とします。

( $\triangle PTS$  の面積) : ( $\triangle QTR$  の面積) を、最も簡単な整数の比で表しなさい。

- 3 下の図のように2つの長方形  $ABCD$ ,  $BEFD$  があり,  $AB = 15 \text{ cm}$ ,  $AD = 20 \text{ cm}$  とします。点  $C$  は辺  $EF$  上にあり, 点  $G$  は辺  $BC$  と対角線  $DE$  との交点とします。このとき, 次の問いに答えなさい。



(1) 線分  $BD$  の長さを求めなさい。

(2) 長方形  $BEFD$  の面積を求めなさい。

(3) 線分 CE の長さを求めなさい。

(4)  $(\triangle BGE \text{ の面積}) : (\text{四角形 } ABGD \text{ の面積})$  を、最も簡単な整数の比で表しなさい。

- 4 次の図1のような正五角形の辺または対角線上を、さいころの出た目の数だけ、点Pが矢印の向きに進みます。点Pは、最初は頂点Aの位置にあるものとします。  
例えば、出た目が3のとき、点Pは頂点Eまで進みます。  
このとき、次の問いに答えなさい。

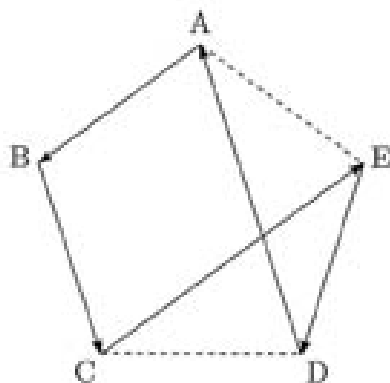


図1

- (1) さいころを1回投げたとき、点Pが頂点Bの位置にある確率を求めなさい。
- (2) さいころを2回投げて、出た目の合計の数だけ点Pが進んだとき、点Pが頂点Bの位置にある確率を求めなさい。

図1のように、点Pが頂点Aから出発して、再び頂点Aに戻ってきたとき、そこからは図2のように矢印の向きに進みます。さらに、再び点Pが頂点Aに戻ってきたとき、そこからは図1のように進みます。

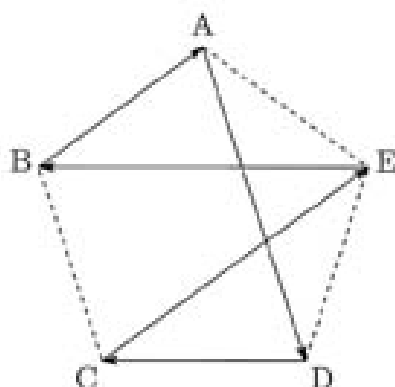


図2

(3) さいころを2回投げて、出た目の合計の数だけ点Pが進んだとき、点Pが頂点Aの位置にある確率を求めなさい。

(4) さいころを2回投げて、出た目の合計の数だけ点Pが進んだとき、点Pが頂点Cの位置にある確率を求めなさい。

図1のように、点Pが頂点Aから出発して、再び頂点Aに戻ってきたとき、そこからは図2のように矢印の向きに進みます。さらに、再び点Pが頂点Aに戻ってきたとき、そこからは図1のように進みます。

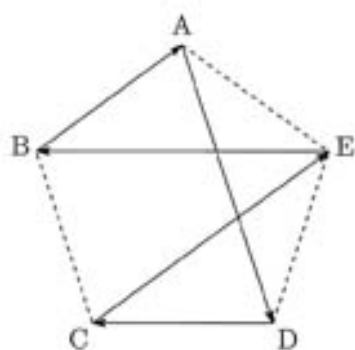


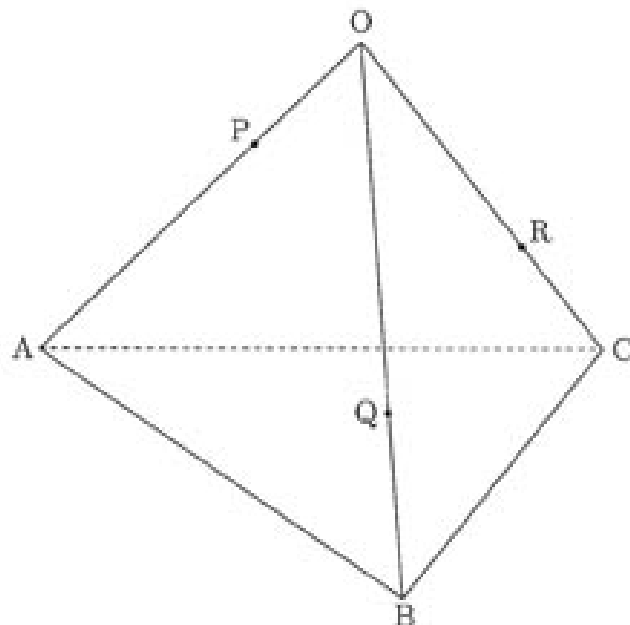
図2

(3) さいころを2回投げて、出た目の合計の数だけ点Pが進んだとき、点Pが頂点Aの位置にある確率を求めなさい。

(4) さいころを2回投げて、出た目の合計の数だけ点Pが進んだとき、点Pが頂点Cの位置にある確率を求めなさい。



- 5 下の図のように、1辺の長さが6 cmの正四面体OABCがあり、辺OA上に点P、辺OB上に点Q、辺OC上に点Rを、それぞれ $OP = 2$  cm,  $OQ = OR = 4$  cmとなるようにとります。このとき、次の問いに答えなさい。



(1)  $\angle OPQ$  の大きさを求めなさい。

(2)  $\triangle PQR$  の面積を求めなさい。

(3) 点Pから $\triangle OQR$ に下ろした垂線をPHとするとき、線分PHの長さを求めなさい。

(4) 直線PHを軸として、 $\triangle PHQ$ を1回転させてできる立体の体積を求めなさい。

1

(1)		(2)	
$(x - y + 2)(x - y - 3)$		$\frac{\sqrt{3}}{3}$	
(3)		(4)	
$a = -\frac{5}{3}, b = 2$		11	
(5)			
41 度			

[配点 20 点：各 4 点]

2

(1)	(2)	(3)
$-18 \leq y \leq 0$	320	$(\frac{4}{5}, \frac{8}{25})$
(4)	(5)	
$y = x - \frac{12}{25}$	5 : 11	

[配点 20 点：(1)(2) 各 3 点, (3)(5) 各 5 点, (4) 4 点]

3

(1)	(2)
25 cm	300 cm <sup>2</sup>
(3)	(4)
16 cm	8 : 33

[配点 20 点：(1) 4 点, (2)(3) 各 5 点, (4) 6 点]

4

(1)	(2)
$\frac{1}{3}$	$\frac{7}{36}$
(3)	(4)
$\frac{7}{36}$	$\frac{2}{9}$

[配点 20 点：(1) 4 点，(2)(3) 各 5 点，(4) 6 点]

5

(1)	(2)
90 度	$4\sqrt{2}$ cm <sup>2</sup>
(3)	(4)
$\frac{2\sqrt{6}}{3}$ cm	$\frac{56\sqrt{6}}{27}\pi$ cm <sup>3</sup>

[配点 20 点：(1) 4 点，(2)(4) 各 5 点，(3) 6 点]